

illustration by Takao Nakagawa



column | RAMPWAY 13

首都高名所案内
 広尾、天現寺
 路地裏に隠れた
 名刹

コラムニスト
 泉 麻人

日比谷線の広尾で降りて、有栖川公園の方を散歩することもよくあるけれど、反対側の広尾商店街の方面もなかなか面白い。シャレたレストランやカフェの合間に昔ながらの商店がぽつんと残っている道、とりわけ僕が気に入っているのはこの商店街の裏筋。店と店の狭間のネコ道みたいな小路に入りこんでいくと、一本裏手に下町にトリップしたような木造の家並が存在し

ている。「広尾湯」なんて銭湯の煙突が見える道端の電柱に目を向けると、電力会社の地区表示に「聖心線」と付けられている。そう、すぐ向こうの崖上は聖心女子大学のキャンパスなのだ。表の商店通りがL字に折れ曲がる、その突きあたりにはお寺の山門が見える。ここをくぐっていくと、いくつかの寺が奥へと並んでいる。東江寺、香

林禅院、霊泉院……どこも古い造りの寺で、なんだか京都あたりにやってきたような気分になる。香林禅院には趣きのある茶室があり、ネットの情報によると、ここではヨガのセミナーなども催されているらしい。寺群の最奥に控える祥雲寺は、入り口に墓所の謂れ書きがいくつも掲示されている。曲長瀬流一門医師の墓、岡本玄治の墓、鼠塚……。

る天現寺。東方にも光林寺をはじめ、数々の寺が並んでいるが、こうやってみると本当にこの辺はお寺が多い。光林寺のすぐそばに首都高の天現寺出入口があるけれど、とくに天現寺の出口の雰囲気は印象的だ。古川の川際、の場末めいた一画にひっそりと出口がある。脇に見える小橋がいつも気になっていたのだが、これは亀屋橋というのだ。橋を渡ると向こう側は北里大学病院の裏方。古川の周辺は金属関係の工場が密集していた地域だが、近頃は次々とマンションに建て替わっている。

曲長瀬流医師の曲長瀬玄朔という人物は、なんでも世界最初のカルテを残した……とされている。岡本玄治はこの曲長瀬流に師事した江戸の医師だが、その名はむしろ氏の屋敷・玄治店(人形町)が「お富さん」の舞台として知られている。鼠塚は、明治30年代に流行したベストの予防で駆除されたネズミを供養したもの……というから、とりあえず、医に由縁のある寺といえるかもしれない。ちなみにこの墓地、クスノキの巨木の向こうの台地の方まで続いていて、高い所からの眺望は広尾の裏側を俯瞰しているようである。

北里大学病院の横道を進んでいくと、やがて恵比寿の方から来るバス通りに行きあたると、「白金北里通り商店街」と名づけられた道には、大正の震災直後に建った古い町屋がまだ何軒か残り、そういう雰囲気狙ってレストランやバーも出店している。「三越湯」という銭湯は建物こそ新しくなったが、門前に「昭和12年」の建設年を刻んだ国旗掲揚台が立っている。

広尾の商店通りは明治通りに突きあたり、少し先に天現寺橋の交差点がある。慶應幼稚舎の脇を流れる古川に架かる天現寺橋、名の元は道の対面にあ

いづみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。「週刊TVガイド」などの編集者を経て、84年、フリーのコラムニスト。近著に『箱根駅伝を歩く』(平凡社)がある。

- 2 コラム RAMPWAY
泉 麻人

特集 インフラ更新時代

- 5 マスタープランをつくる
公益社団法人日本港湾協会 名誉会長
栢原英郎
- 8 社会インフラの将来像
東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 教授
涌井史郎
- 12 コラム バイ・ザ・ウェイ 太田治子
- 14 CHALLENGE
大規模更新に挑む
- 15 データ物語
大型車が首都高の構造物に与える影響は?
- 16 首都高HEADLINE
- 18 business essay
宴会幹事の支援
東京大学 空間情報科学研究センター 教授
柴崎亮介
- 20 つくる人まもる人
首都高メンテナンス東京株式会社
三浦秀俊 / 菊地音夢
- 22 高速百景 中野正貴

cover photo by Minoru Saito
 contents produced by
 Metropolitan Expressway Company Limited